

令和4年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 64

千葉県立流山南高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校を志願する動機、理由、適性等が適切な者で、人物が優れ基本的な生活習慣が身につけており、さらに次のいずれかに該当する生徒

- ア 学習活動、特別活動等において優れた取り組みを行い、かつ、入学後も継続して活動する意欲があること
- イ 部活動等において優れた取り組みを行い、かつ、入学後も継続して活動する高い意欲があること

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現 日本語による自己アピール 実施形態：個人で発表 検査時間：2分 イ 実技による自己表現 実施形態：個人またはグループで発表(種目により異なる) 次の実技のうち1つを選択 サッカー(男)・野球(男)・陸上競技(男女)・剣道(男女)・柔道(男女)・ソフトテニス(男女)・相撲(男)・弓道(男女)・バレーボール(女)・バスケットボール(男女)・卓球(男女)・バドミントン(男女)・理科(男女)・美術(男女) 検査時間：30分程度(種目により異なる)

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 [185点満点]

アの数値に、エについて加点(上限50点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点(上限50点)する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（自己表現）〔96点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを16点、bを8点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各48点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

ア 口頭による自己表現（日本語による自己アピール）

評価項目	評価基準
(ア) 志望動機	内容が自らの体験等に基づき、説得力があり、高校生活に意欲的に取り組む姿勢がはっきりしている。
(イ) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでおり、発表における態度が適切である。
(ウ) 内容・伝達力	内容が充実し、良くまとまっていてしっかりと論理立てられており、表現力が豊かでわかりやすい。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 志望動機	入学後も継続して意欲的に競技に取り組む姿勢がはっきりしていて、志望動機が明確である。
(イ) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでおり、発表における態度が適切である。
(ウ) 技能	当該種目における専門的な技能を身につけている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査(自己表現)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=1)	加点	自己表現	
500点	135点	50点	96点	781点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。